

i+Padタッチャーの製作

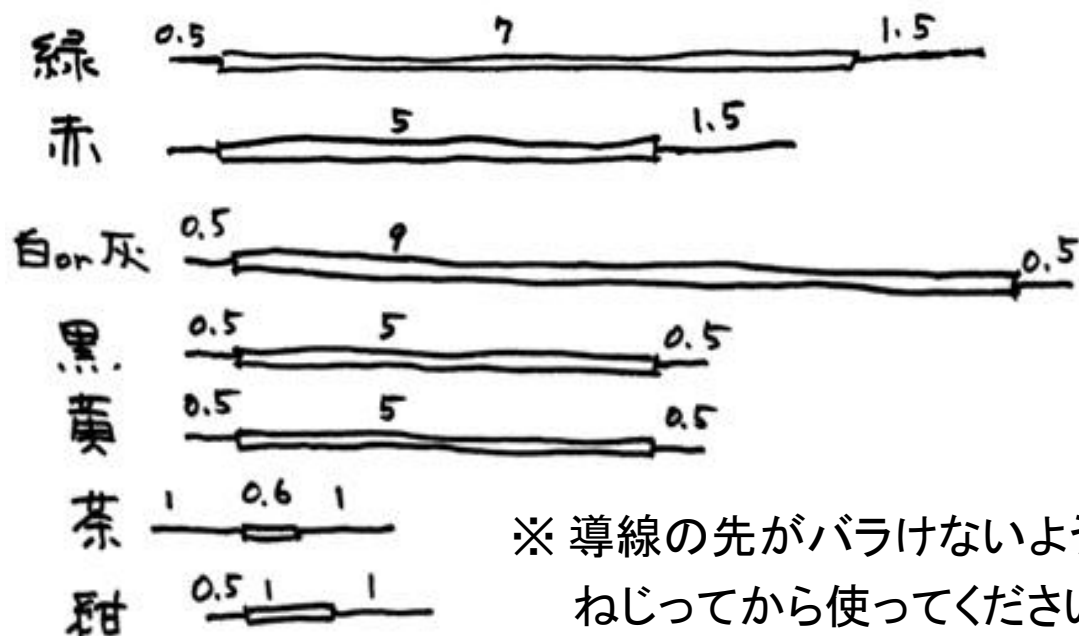
Ver 1.0 2014.12

0. 準備物

材料費500円、ハサミ、カッターナイフ、セロテープ(あれば持ってきて下さい)
半田ゴテ、ハンダ、グルーガン、ドライバーなどの工具類(こちらで用意します)

1. 部品

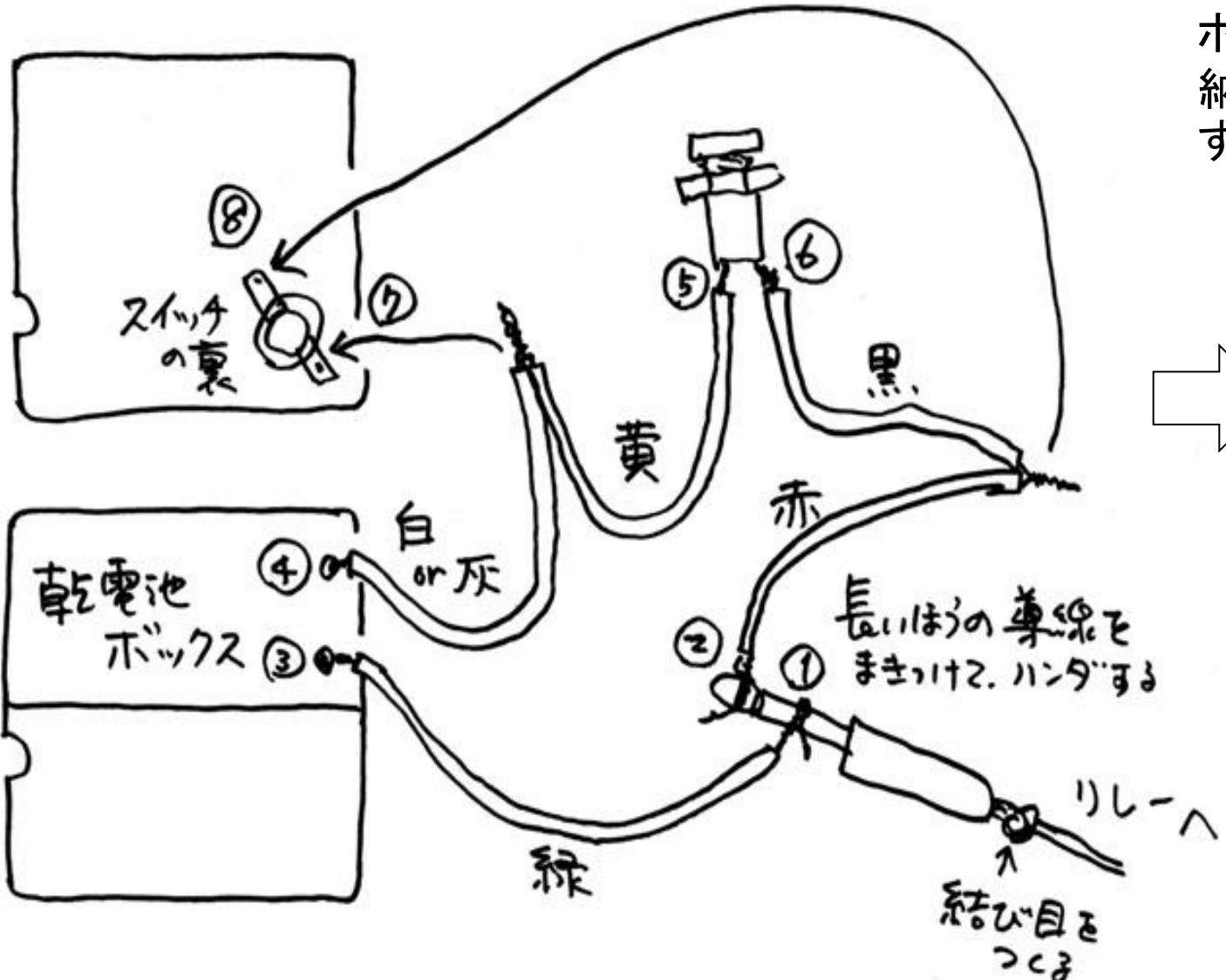
ケース(100均アンプ、加工済)
スイッチ(ケースに取付済)
3.5φ ジャック
リレー
銅板
単4電池×2
ビニル線7本(右図)



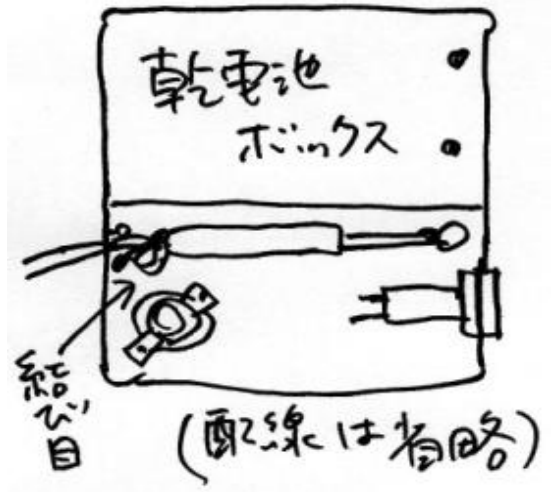
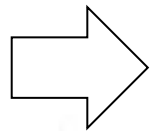
※ 導線の先がバラけないよう
ねじってから使ってください

3. 電源ボックスの組み立て

番号の順にハンダづけします



ハンダづけが終わったら、ボックス内にパーツとコードを納めて閉じ、輪ゴムで仮止めする。

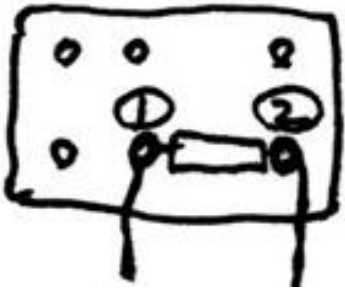


配線部でショートの可能性のある時はセロテープ等で絶縁する。

4. リレー部の組み立て

番号の順にハンダづけします。

ブリッジ



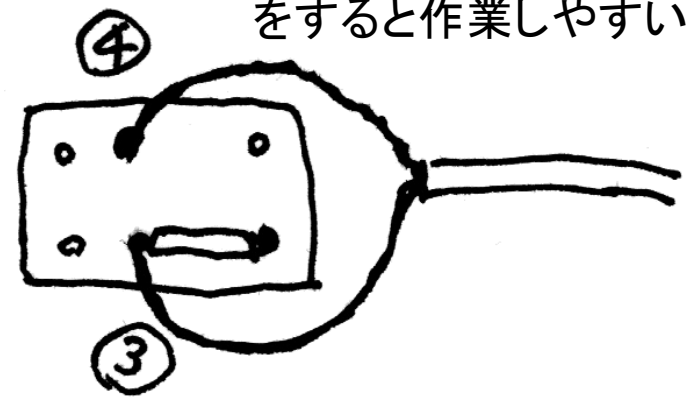
茶色のコードで2本の足の間にブリッジをする。導線を足にぐるぐる巻いてからハンダをする。

導線が余ればハンダづけ後に切り落とす

※ 5の動作確認を行ってから配線部をグルーガンで固めて配線が取れないようにしてください。

電源コードをつける

④は足に予備ハンダをすると作業しやすい



銅板をつける



銅板に予備ハンダをしておく

足に導線をぐるぐる巻きつけてハンダでとめる。導線が余ればあとで切り落とす。



5. 動作の確認

- ・電源ボックスに電池を入れます。スイッチを押すと、リレーを持つ指先にカチッと手ごたえがあるはずです。手ごたえがないときは配線をチェックしてください。
- ・電源ボックスに接続した外部スイッチを押しても上と同じ反応があるはずです。手ごたえがないときは電源ボックス内のジャックへの配線をチェックしてください。
(これで大丈夫ですが、さらに念のためという人はiPadなどで直接動作チェックをしてください)

動作確認が終わったら、電源ボックスをネジ留めし、リレー部をグルーガンで固めます。
リレー部はコードを強く引いても外れないように工夫してください。

6. その他

- ・iPad とリレー部(銅板)は導電性のジェルで貼りますが、両面テープでも大丈夫なようです。
- ・使用しない時は乾電池を外してください。
- ・このi+Padタッチャーはブログ「風に吹かれて」の記事を参考に作っています。

(<http://blog.goo.ne.jp/sasamory/e/154df917b89d0a6a0d9883bccc96d088>)